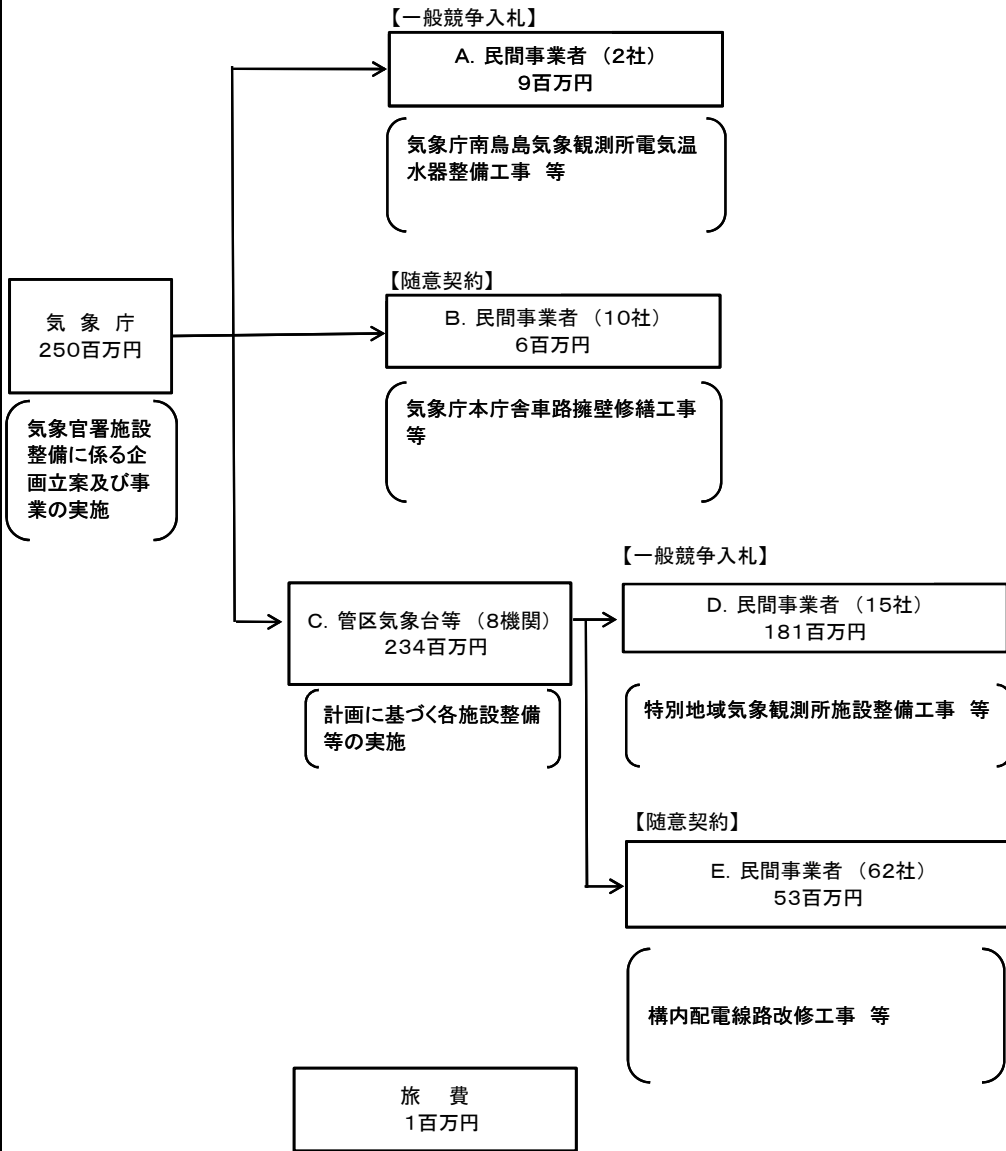


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	気象官署施設整備	担当部局庁	気象庁総務部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～	担当課室	総務課施設物品管理室	室長 梶原哲朗				
会計区分	一般会計	施策名	-					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法第3条 国有財産法第5条 国家公務員宿舎法第5条	関係する計画、通知等	「国の行政機関の定員の純減について」(平成18年6月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国の気象官署の庁舎等について、施設の維持又は改善等を図り、安定した気象業務の遂行に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国の気象官署の庁舎等の改修を実施する。 また、測候所の無人化に伴い、特別地域気象観測所として必要なスペースを確保し、機器類を移設・集約することにより、観測の継続を行うとともに、不要となった国有財産(敷地等)の有効活用に資する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	321	305	250	207	219	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	-1	-9	1	13		
		計	320	296	251	220	219	
		執行額	316	296	250			
	執行率(%)	99%	100%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	特別地域気象観測所の施設整備 (測候所の無人化に伴う機器の集約化) ※達成度は各年度の目標値に対するもの。		成果実績	箇所	5	2	3	2
			達成度	%	100%	100%	100%	
	庁舎等改修 ※達成度は各年度の目標値に対するもの。		成果実績	箇所	8	5	6	3
			達成度	%	100%	83%	120%	
	宿舎改修 ※達成度は各年度の目標値に対するもの。		成果実績	箇所	2	1	0	0
		達成度	%	100%	100%	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	特別地域気象観測所の施設整備 (測候所の無人化に伴う機器の集約化)		活動実績 (当初見込み)	箇所	5	2 (2)	3 (3)	- (2)
	庁舎等改修		活動実績 (当初見込み)	箇所	8	5 (6)	6 (5)	- (3)
	宿舎改修		活動実績 (当初見込み)	箇所	2	1 (1)	0 (0)	- (0)
単位当たりコスト	28(百万円/箇所)		算出根拠	23年度執行額/23年度箇所数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	1	1	・特別地域気象観測所施設整備の箇所数の増86百万円				
	施設施工庁費	17	18	・庁舎修繕等の内容の精査による減▲74百万円				
	施設整備費	189	200					
	計	207	219					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・本事業は、気象業務の遂行に必要な全国の気象官署の庁舎等について、施設の防災機能の維持・改善等を行うものであり、施設の老朽の程度を精査し、真に必要なもの、緊急性の高いものから整備を実施しており、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・特定の民間事業者により有利にならない仕様書を作成し、原則として一般競争入札(少額のものを見積合せを行い、最も有利な価格を提示した者と契約を締結)を実施しており、競争性の確保に努めている。 ・支出先や使途については、全て把握できており、また、支出に当たっては、検査等を行い実施内容の確認を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・整備・改修を行った施設は気象業務の遂行に十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 官庁営繕費 国土交通省・官庁営繕部	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、気象業務の遂行に必要な全国の気象官署の庁舎等について、施設の維持・改善等を行うものであることから、引き続き、継続する必要がある事業であり、効率的な事業実施の観点から真に必要なもの、緊急性の高いものから整備を行うこととしている。調達方法については、原則として一般競争入札(少額のものを見積合せを行い、最も有利な価格を提示した者と契約を締結)を実施しており、競争性の確保に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>施設の整備に当たり、施設の重要性や老朽化の程度等を精査し、必要性・緊急性が高いものから整備を行うことにより、コストの削減が図られた。 引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの削減に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>特別地域気象観測所の施設整備を行い、不用となる国有地の有効活用を図る。 庁舎修繕等の内容の精査により、コストの削減を図った。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	510	平成23年行政事業レビュー	487

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



**【随意契約】**

契約金額が少額である場合、会計法、予算決算及び会計令により随意契約によっているが、少額の場合はなるべく2者以上から見積書を徴し、契約を締結している。

(参考)

「会計法」

第二十九条の三 契約担当官及び支出負担行為担当官（以下「契約担当官等」という。）は、売買、貸借、請負その他の契約を締結する場合においては、第三項及び第四項に規定する場合を除き、公告して申込みをさせることにより競争に付さなければならない。

(中略)

四 契約の性質又は目的が競争を許さない場合、緊急の必要により競争に付することができない場合及び競争に付することが不利と認められる場合においては、政令の定めるところにより、随意契約によるものとする。

五 契約に係る予定価格が少額である場合その他政令で定める場合においては、第一項及び第三項の規定にかかわらず、政令の定めるところにより、指名競争に付し又は随意契約によることができる。

「予算決算及び会計令」

(随意契約によることができる場合)

第九十九条 会計法第二十九条の三第五項の規定により随意契約によることができる場合は、次に掲げる場合とする。

- 一 国の行為を秘密にする必要があるとき。
- 二 予定価格が二百五十万円を超えない工事又は製造をさせるとき。
- 三 予定価格が百六十万円を超えない財産を買い入れるとき。

(中略)

七 工事又は製造の請負、財産の売買及び物件の貸借以外の契約でその予定価格が百万円を超えないものをするとき。

(見積書の徴取)

第九十九条の六 契約担当官等は、随意契約しようとするときは、なるべく二人以上の者から見積書を徴さなければならない。

A.鹿島建設株			E.(株)興建設		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	気象庁南鳥島気象観測所電気温水 器整備工事	5	工事費	与那国観測所構内配電線路改修工事(石垣島 地方気象台)	2
			工事費	下水道配管工事(与那国島特別地域気象観測 所)	1
計		5	計		3
B.(株)イサワコーポレーション			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	気象庁本庁舎車路擁壁修繕工事	2			
計		2	計		0
C.大阪管区気象台			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	潮岬特別地域気象観測所観測施設 移設待受及び旧庁舎解体工事等	110			
計		110	計		0
D.(株)福島工務所			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	潮岬特別地域気象観測所観測施設 移設待受及び旧庁舎解体工事	50			
計		50	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿島建設㈱	気象庁南鳥島気象観測所電気温水器整備工事	5	2	87.5
2	(株)ディム	函館海洋気象台直流電源装置更新工事	4	9	79.6
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イサワコーポレーション	気象庁本庁舎車路擁壁修繕工事	2	随意契約	
2	アイテックコンサルタント(株)	柏宿舎囲障改修工事設計業務	1	随意契約	
3	コエダ企画	気象庁大気環境観測所宿舎排水設備改修工事設計業務	1	随意契約	
4	(株)加藤建築研究所	気象庁3号庁舎設備図等作成業務	1	随意契約	
5	RRA宮本設計	精密地震観測室2・3号庁舎屋根改修工事設計業務	1	随意契約	
6	(株)第一文眞堂	蛍光灯ほかの購入	0.133	随意契約	
7	東京地下鉄(株)大手町駅	回数券(東京メトロ)ほかの購入	0.100	随意契約	
8	(株)中村工業商会	蛍光灯他の購入	0.043	随意契約	
9	(株)三省堂書店	「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」ほかの購入	0.029	随意契約	
10	全国官報販売協同組合	「土木工事共通仕様書」の購入	0.04	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪管区気象台	潮岬特別地域気象観測所観測施設移設待受及び旧庁舎解体工事 等	110		
2	仙台管区気象台	若松特別地域気象観測所施設整備等工事 等	38		
3	福岡管区気象台	名瀬測候所非常用発動発電機更新工事 等	29		
4	札幌管区気象台	札幌管区気象台アスファルト敷設工事 等	22		
5	沖縄気象台	沖縄気象台糸数レーダー観測所改修工事 等	19		
6	東京管区気象台	水戸地方気象台東側擁壁補修工事 等	8		
7	気象研究所	気象研究所本館エントランスホール壁改修工事 等	5		
8	関東地方整備局	北の丸公園園場整備工事 等	3		
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)福島工務所	潮岬特別地域気象観測所観測施設移設待受及び旧庁舎解体工事	50	6	59.3
2	大鉄工業(株)米子支店	米子特別地域気象観測所観測施設移設待受及び旧庁舎解体等工事	41	11	92.2
3	武田土工工業(株)	若松特別地域気象観測所施設整備等工事	32	2	84.2
4	㈱九州山光社	名瀬測候所非常用発動発電機更新工事	17	2	98.1
5	(株)宮田電設工業	札幌管区気象台アスファルト敷設工事	8	2	94.1
6	(有)和泉工務店	高松地方気象台第一庁舎模様替等工事	6	3	71.2
7	(有)新居開発	沖縄気象台糸数レーダー観測所改修工事	6	3	95.3
8	パイオニア電設(株)	沖縄気象台構内電話設備購入・取付調整	4	5	48.7
9	(株)アド建設工業	札幌管区気象台門扉等新設工事	4	4	45.3
10	高塚建設工業(株)	気象研究所本館エントランスホール壁改修工事	4	3	99.1

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)興建設	与那国観測所構内配電線路改修工事(石垣島地方气象台)等	3	随意契約	
2	板垣建設(株)	毛無山気象レーダー観測所外壁ほか改修工事	2	随意契約	
3	岩倉緑化産業(株)	水戸地方气象台東側擁壁補修工事	2	随意契約	
4	前田道路(株)	大分地方气象台構内舗装改修工事	2	随意契約	
5	(有)城西電気	室戸岬特別地域気象観測所電話回線埋設化工事	2	随意契約	
6	北海電気工事(株)	札幌管区气象台低圧動力用変圧器更新工事	2	随意契約	
7	(株)真樹建築事務所	札幌管区气象台庁舎エアコン更新工事設計業務委託等	2	随意契約	
8	日建(株)	宮古島地方气象台技術課事務室及び現業室空調機更新工事	2	随意契約	
9	兼子建設(株)	徳島地方气象台排水路新設他工事等	2	随意契約	
10	(株)かじもと	和歌山地方气象台庁舎窓ガラスフィルム貼り工事	2	随意契約	